

決算特別委員会会議録

平成25年10月15日(火)

(開会) 10:00

(閉会) 10:30

委員長

只今から、平成24年度決算特別委員会を開会いたします。「認定第1号 平成24年度 飯塚市一般会計歳入歳出決算の認定」から「認定第13号 平成24年度 飯塚市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定」までの13件を一括議題といたします。

この際、皆さんにお願いいたします。本日の委員会は資料要求のみにとどめ、実質審査は、10月29日、30日及び31日の3日間で行いたいと考えておりますので、ご了承願います。

次に、効率的に審査を進めていくために、先に、お願いいたしておりました通告分の資料要求以外の通告外の資料要求につきましては、本日用意させていただきますようご協力をお願いいたします。なお、資料要求は一括してお諮りいたしますので、執行部は後で答弁できるように整理しておいてください。それでは、ただ今から、資料要求をお受けいたします。はじめに、事前に通告をいただきました資料要求につきましては、配付しております一覧表のとおりでございます。

佐藤委員は本日欠席でございますので、補足はないとのことでございます。

次に、宮嶋委員、補足等がございましたらお願いいたします。

(補足なし)

次に、江口委員、補足等がございましたらお願いいたします。

(補足なし)

次に、事前通告以外に資料要求はありませんか。

(なし)

なしと認めます。他に資料要求はないようですので、本日の資料要求は、以上をもちまして終結いたします。それでは、執行部に提出できるかどうかの答弁を求めます。

先ず、事前通告をされておりました各委員の資料要求について、答弁をお願いします。

財政課長

各課にまたがりますので、私の方から一括して答弁させていただきます。資料要求一覧表に記載されております資料は、すべて提出させていただきます。

委員長

お諮りいたします。ただ今、各委員から要求がありました資料につきましては、要求することに、ご異議ありませんか。

(異議なし)

ご異議なしと認めます。よって、執行部に資料の提出を求めます。ただ今、要求した資料のうち、既に準備できているものがございますので、事務局に配布させます。

(事務局による資料配布)

次に、執行部から認定議案に対する補足説明を求めます。できるだけ簡潔にお願いします。

財政課長

平成24年度決算の概要について説明させていただきます。配布いたしております「平成24年度飯塚市決算に係る主要な施策の成果説明書」をお願いいたします。

1ページをお願いいたします。“まえがき”の中段部分に記載しておりますように、本市の平成24年度の予算につきましては、総合計画の目標の実現に向け、「行財政改革実施計画」、「公共施設等のあり方に関する実施計画」を確実に反映させ、事務事業評価を活用し、既存事業を

効果的・効率的に実施し、自主的かつ主体的な地域づくり・市民生活の向上に取組むことを方針として編成いたしました。

この予算に基づき平成24年度に実施いたしました主な事業名を後段部分のかぎカッコ内に記載しておりますが、安心・安全なまちづくり、市民福祉の向上、地域経済の推進、生活基盤の整備、住環境の整備及び教育の充実などに向けた各種事業を実施いたしました。

3ページをお願いいたします。決算の状況・決算規模の推移および歳入・歳出の状況についてご説明いたします。ローマ数字の1の「決算の状況・決算規模の推移」の【決算の状況】につきましては、平成24年度の歳入歳出差引額、及びこれから翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支とともに黒字となっております。また、この実質収支額のうち8億4,323万1千円を地方自治法の規定により財政調整基金に繰り入れております。

の「歳入の状況」では、区分(款)ごとに前年度との比較表を記載し、次の4ページ以降に主な款別の収入状況につきまして、前年度との増減内訳とその主な要因についての説明を表の下に記載いたしております。

1款の「市税」につきましては、個人市民税は年少扶養控除廃止等の税制改正により増加いたしました。法人市民税は、電力の燃料費高騰などにより減少いたしました。また、固定資産税は、土地の地価下落及び評価替による減、家屋の評価替による減により減少いたしました。

5ページには、平成24年度一般会計歳入総額の約3割(28.0%)を占めております11款「地方交付税」について記載しております。参考欄および説明書きにもありますように、臨時財政対策債を合計した実質的な普通交付税は、約2,900万円の減となりました。

7ページをお願いします。15款「国庫支出金」につきましては、子ども手当が児童手当に制度変更されたため、子ども手当負担金が大幅に減少したものの、児童手当負担金が増加いたしております。また、経済対策関連の交付金や安心・安全な学校づくり交付金が減少しましたが、学校施設環境改善交付金(旧安心・安全な学校づくり交付金)が増加したことにより、約1億2,900万円の増加となっております。

9ページに19款「繰入金」について記載しております。財政調整基金の記載はありませんが、平成24年度につきましても行財政改革の効果等による人件費や公債費の減などにより、前年度に引き続き財政調整基金の繰入れ(取崩し)をせずに決算できております。

10ページをお願いします。21款「諸収入」につきましては、福岡県市町村災害共済基金組合解散に伴います納付金返還金が生じたこと等により増額となっております。

22款「市債」につきましては、水道事業会計への出資、清掃・し尿処理施設の整備事業、浸水対策事業、小中学校施設整備事業などの大型事業の実施により大幅に(約23億3,500万円)増額いたしております。

12ページをお願いいたします。の「歳出の状況」は、各款ごとに前年度決算額と比較いたしまして、増減の主な要因について歳入と同様に表の下に説明文を記載いたしております。

1款の「議会費」では、平成23年度に改選に伴う議員不在期間が生じたため報酬・期末手当が増加しましたが、負担率の変更による議員共済給付負担金の減などにより、約5,500万円の減額となっております。

2款「総務費」では、昨年度に引き続き減債基金積立金を将来の公債費負担に備え、約5億9,900万円積立てることができました。

13ページの3款「民生費」では、子ども手当が児童手当に制度変更されたため、児童手当の支給により、子ども手当は減となっております。また、障がい者介護給付費・訓練等給付費および私立保育所整備事業費補助金の増などにより、約4億3,000万円の増額となっております。

4款「衛生費」は、予防接種経費は減となりましたが、合併特例債を活用した老朽施設更新

事業等実施に係る水道事業会計補助金が増額となっております。また、平成22年度からの清掃工場電気・機械設備等更新事業につきましても引き続き実施いたしております。

14ページをお願いします。5款「労働費」では、ふるさと雇用再生特別基金事業の制度終了により減額となっております。

6款「農林水産業費」では、地域活性化・きめ細やかな臨時交付金事業の制度終了、林業土木事業の終了がありました。浸水対策事業、荒廃森林再生事業の実施等により増額となっております。

7款「商工費」では、中小企業資金融資預託金の減および地域活性化・住民生活に光をそそぐ交付金事業（低炭素社会先進技術開発補助金）の制度終了等により減額となっております。

15ページの8款「土木費」は、地域活性化・きめ細やかな交付金事業や秋松西排水機場改修工事の事業が終了しましたが、浸水対策事業、公営住宅建替事業の実施等により増額となっております。

9款「消防費」につきましては、常備消防費に係る普通交付税の基準財政需要額の増により飯塚地区消防組合負担金が増額となりましたが、消防団員退職報償費や消防団員等公務災害補償共済基金負担金が減額となったため減額となっております。

10款の「教育費」では、本市の重要施策の一つであります小中学校整備事業費の増、学校給食施設の整備に伴う繰出金の増、また、新たに小中学校教育情報機器リプレイス事業を実施したこと等により増額となっております。

16ページをお願いします。11款「公債費」では、前年比で約5億1,400万円の減額となりましたが、これは主に一般廃棄物処理事業債や（旧）地域総合整備事業債などの償還終了等によるものでございます。

12款の「予備費」は、主に児童手当システム改修に係る経費や住宅用太陽光発電システム設置費補助金、住宅リフォーム補助金およびコスモスコモン改修工事の追加など緊急に対応すべき経費等に充用いたしております。

13款「災害復旧費」につきましては、平成24年7月の大雨による災害のため、農業施設、農地、道路橋りょう、河川災害等の復旧を実施いたしております。

17ページをお願いいたします。「主要施策の成果」につきましては、平成21年度から取り組んでおります「事務事業評価シート」を活用いたしまして、当該事務事業に要した経費、目的、実施状況、目標達成度、成果と課題について抜粋して記載しております。本年度は一般会計のほぼ全費目にわたって188の主な事務事業について掲載をいたしております。事業ごとの内容の説明は省略させていただきますが、平成24年度に得られた成果や今後取組んでまいります課題等々を記載しておりますので、審査のご参考にさせていただきたいと存じます。

99ページからは特別会計について記載しておりますが、基本的には一般会計と同様の形式の成果説明書となっております。

続きまして、127ページ以降に掲載しております資料を用いまして決算の概要を説明させていただきます。

128ページをお願いいたします。この表は、決算額を会計毎に前年度と比較したものでございます。平成24年度の一般会計の歳入総額は、615億50万5千円、歳出総額は、593億1,893万円、差引21億8,157万5千円の黒字ですが、このうち平成25年度への繰越財源が4億9,511万4千円含まれていますので、実質の黒字はこの繰越分を除いた16億8,646万1千円となります。

一般会計と12の特別会計を合計いたしますと、下段の合計の欄でございますけれども、歳入は、1,056億1,654万9千円、歳出は、1,042億343万7千円、差引は、14億1,311万2千円の黒字となっております。

全会計のうち、小型自動車競走事業特別会計のみで9億8,712万5千円の赤字決算となっており、平成25年度からの繰り上げ充当金で赤字決算の処理をいたしております。

次の129ページの表は、平成15年度からの地方債現債高の推移をまとめたものでございます。普通会計の計の欄から4行上でございますが、臨時財政対策債は、前年比で約15億3,300万円増加しておりますが、これは償還時に全額普通交付税に算入されますので、実質的な負担にはなりません。

普通会計の計としましては、一般廃棄物処理事業の一部償還が終了したことなどによる減額要素がありますが、大型事業の実施に伴う合併特例事業の増などにより前年度より25億2,600万円ほど増加いたしております。

130ページをお願いいたします。この表は、平成22年度末から平成24年度末までの基金の状況についてまとめましたもので、財源調整のための基金であります財政調整基金、一番上の行でございますが、平成24年度末残高が約63億4,500万円となっております。前年度末より7億7,700万円ほど増加いたしております。また、将来の公債費に備えた減債基金の積み立ても行うことができ、前年度末より約5億9,900万円多い、約30億2,600万円の残高となっております。

次の131ページには基金の運用状況についての資料を付けております。左の表では、預金・債権・貸付金の運用区分ごとの平成23年度及び平成24年度末現在高を記載しており、右側の表に平成24年度の預金利子および運用収入の内訳を記載しております。収入額は、大口定期預金等による預金利子が4,038万6千円、国債等による運用収入が2,979万3千円となっております。

134ページをお願いいたします。この表は、普通会計の財政指数等の10年間の推移をまとめたもので、右端の列に平成24年度の決算状況について記載しております。

普通会計の歳入・歳出総額とも前年度より大きく伸びております。歳入から歳出を差し引いた形式収支は、約22億6,900万円、翌年度繰越し財源を除きました実質収支は17億1,400万円の黒字となっております。単年度収支から財政調整基金の積立金等を加算し繰入金を除きました実質単年度収支につきましても、前年度に引き続き約2億200万円の黒字となっております。

下から7行目に記載しております経常収支比率は、地方公共団体の財政の弾力性を示すもので、経常的に収入することができる市税などの一般財源のうち人件費・扶助費・公債費などの必ず支出しなければならない経常的な経費に充てる一般財源の割合を表しております。平成24年度では91.4%となり、前年度の92.3%より0.9ポイント改善いたしております。速報値で政令市を除きます福岡県下26市の中で17番目に位置しており、平均の90.0%をやや上回っている状況であります。また、今回の改善の要因としましては、歳出で、行財政改革の効果などにより人件費や公債費が減少したことが挙げられます。

次の135ページに記載しております健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率につきましては、9月議会でご報告いたしましたので、説明は省略させていただきます。

136をお願いいたします。136ページから137ページにかけて、一般会計の歳入および歳出の款別決算額について前年度と比較いたしました表を掲載しております。先ほど本編の中で主な増減内容についてご説明いたしましたので、ここでの説明は省略させていただきます。

138ページをお願いいたします。この表は、一般会計の歳出を性質別に平成23年度と比較したもので、主な増減の要因について説明させていただきます。

義務的な経費では、職員数の減、共済費負担金率改正による減等により人件費が減少、一般廃棄物処理事業債の償還終了等により公債費は大幅に減少いたしております。

繰出金では、学校給食施設の整備に伴う学校給食事業特別会計繰出金や介護保険特別会計繰

出金の増により増加いたしております。

投資及び出資金・貸付金では、中小企業融資預託金は減少しましたが、老朽施設更新事業等の合併事業への出資分に係る水道事業会計補助金の増などにより増加をいたしております。

また、投資的経費では、介護基盤緊急整備補助金は減少しましたが、本市の重要施策であります浸水対策事業、小中学校の大規模改造等の施設整備事業、清掃工事電気・機械設備等更新委託料、および私立保育所整備事業費補助金が増加しており、災害復旧費は、豪雨災害により増加し、全体として大幅に増加いたしております。

139ページから152ページにかけまして、市税、医療費助成、生活保護、市有土地売却、債務負担行為などの調書を掲載しております。

153ページ以降は、総務省が示しております手法により、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書の財務諸表4表を普通会計およびこれに他の特別会計や一部事務組合等を含めました連結会計の2つの区分で作成し添付いたしておりますが、内容の説明は省略させていただきます。

以上で決算概要についての説明を終わります。

委員長

この際、正副委員長から委員の皆さまにお願いいたします。執行部答弁が的確に行われ、より実効性のある決算審査とするために、委員の皆さまには、事前の質疑事項通告をお願いいたしておるところでございますので、今回につきましても同様にご協力をお願いいたします。また、実質審査では、限られた時間の中での委員会開催でございますので、単純な確認のみの質疑や事業の概要等の質疑の導入部分のご発言はできるだけ割愛していただきますよう、ご協力をよろしく願います。なお、質疑通告の提出期限は、10月18日（金）までとなっておりますので、できるだけお早めに事務局まで提出いただきますよう重ねてお願いいたします。

また、執行部におかれましては、質疑事項に対して、正確かつ簡潔に要領を得た答弁をされるよう、特に要望しておきますので、よろしくお願いいたします。

お諮りいたします。本日の審査は、この程度にとどめ、次回の委員会を10月29日（火）午前10時から開きたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（ 異議なし ）

ご異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

お諮りいたします。「認定第1号 平成24年度 飯塚市一般会計歳入歳出決算の認定」から「認定第13号 平成24年度 飯塚市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定」までの13件については、継続審査とすることに、ご異議ありませんか。

（ 異議なし ）

ご異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

以上をもちまして、平成24年度決算特別委員会を散会いたします。お疲れさまでした。